

単 位 数	教 科 担 当 者	使用教科書・補助教材・その他
5	八木澤 健光	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B（数研出版） クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B 受験編 （数研出版）
必 履 修 学校必履修 ○必修選択 自由選択		共通テスト直前実践問題集 数学Ⅰ・A, Ⅱ・B（Learn-S）

◆学習の目標

数学Ⅰ・Ⅱ・A・Bの内容を深く理解し、問題演習をすることにより、国公立大の2次試験及び私立大の記述試験に対応できる能力を養う。

◆主な学習内容・方法

(1) 数と式 (2) 関数と方程式・不等式 (3) 式と証明 (4) 論理 (5) 確率 (6) 平面図形 (7) 図形と式 (8) 三角・指数・対数関数 (9) 微分法・積分法 (10) ベクトル (11) 数列

◆到達目標と評価の観点

〔標準〕

各分野の基本的内容に習熟し、正確な解答が記述できることを目標とする。

〔応用〕

各分野の基本的内容に習熟・再構成できる能力に達するとともに、問題場面に応じて問題を分析し、発展的に解決できる学力を身に付けることを目標とする。

標準及び応用ともに、定期考査等の成績、演習などの取り組みを評価の観点に加える。

◆評価の方法

定期考査及び提出物・演習等で、学習内容の理解度及び解答の表現力を評価する。

◆年間予定授業時間

予定時数	175時間	1学期（67時間）	2学期（69時間）	3学期（39時間）
------	-------	-----------	-----------	-----------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

- ・演習中心の授業なので、予習として問題を解いておくこと。
- ・演習で板書した解答の過不足を吟味し、正確で簡潔な解答を書けるようにする。
- ・解けた問題でも、他の解法や別の角度からの発想を常に考える習慣を付ける。

◆授業計画

学 期	月	単元・教材等	単元 ごとの 時間数	学習の内容	学習到達目標
1 学 期	4	数学Ⅰ	20	<ul style="list-style-type: none"> ・数と式 ・関数と方程式・不等式 ・式と証明・論理 ・整数の性質 ・場合の数と確率 ・図形の性質、図形と式 ・三角比・三角関数 ・指数・対数関数 ・微分法 ・積分法 ・ベクトル ・数列 ・データの分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集を解き、基本的な考え方や知識の定着をする。 ・個々の問題に対する理解だけでなく、定理の成り立ちを理解する。 ・担当の問題を解説することにより理解度を高める。
	5	数学A	13		
	6	数学Ⅱ	18		
	7	数学B	16		
2 学 期	8	数学Ⅰ	15	国公立大の2次試験及び 私立大の記述試験対策 問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試問題を柔軟に考え、解くことができる。 ・問題を解く過程を振り返って考察を深めることができる。 ・問題を様々な角度から問題を分析できる。
	9	数学A	15		
	10	数学Ⅱ	15		
	11	数学B	15		
	12	入試問題演習	9		
3 学 期	1	入試問題演習	39	国公立大の2次試験及び 私立大の記述試験対策 問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試問題を様々な視点から柔軟に数学的論拠に基づいて解くことができる。 ・問題を発展的に考察したりできる。
	2				
	3				